

2015年6月9日

ウェザーニューズ、梅雨の天気傾向発表
エルニーニョ現象の影響で、全国的に長梅雨の可能性
～西日本や北陸・東北では平年より一週間長い梅雨の予想に～

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、6月9日（火）、梅雨の天気傾向を発表しました。今年は西日本～関東で平年並～早めに梅雨入りしており、北陸や東北でも今週中に平年並の梅雨入りを迎える予想です。今後、エルニーニョ現象の影響で梅雨前線の北上が遅れ、梅雨明けは全国的に平年より遅くなる可能性があります。このため今年は、ほぼ全国的に平年より長い梅雨となりそうです。特に西日本や北陸、東北では平年より一週間程度長くなる可能性もあります。今年の梅雨は後半ほど雨量が増加し、7月に入ると活発な梅雨前線の影響で強い雨の日が増える見込みです。大雨による河川の増水、道路冠水、浸水、土砂災害に十分注意が必要です。最新の『梅雨見解』は、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」にて公開しています。ウェザーニューズは雨の季節を少しでも安全で快適に過ごせるよう、サービスの提供に努めてまいります。

最新の『梅雨見解』はこちら

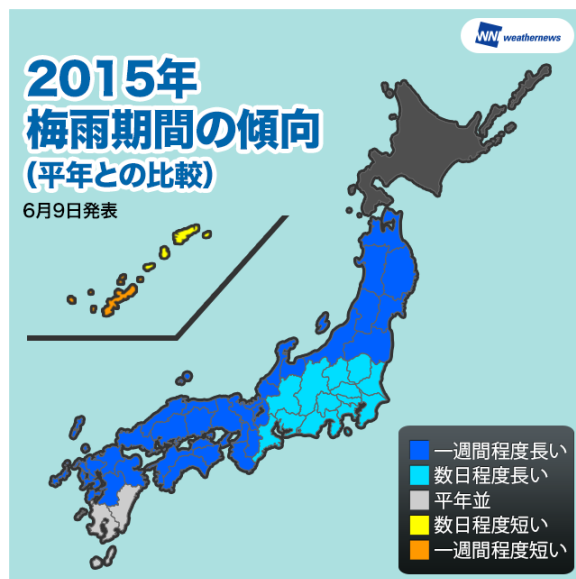
スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後、「おしらせ」にアクセス	スマホ向けwebサイト「ウェザーニューズ」から『梅雨見解』にアクセス http://weathernews.jp/s/rainy_season/	携帯サイト「ウェザーニューズ」『梅雨見解』にアクセス http://wni.jp/?33
---	---	---

◆全国的に長梅雨となる見込み、西日本や北陸・東北は平年より一週間長い可能性も

西日本～関東で平年並～早めに梅雨を迎え、いよいよ雨の季節となりました。北陸や東北も今週、平年並の時期に梅雨入りする可能性があります。

今年はエルニーニョ現象の影響で夏の高気圧（太平洋高気圧）の日本付近への張り出しが弱く、今後、梅雨前線の北上は次第に遅くなる見込みです。このため、梅雨明けはほぼ全国的に平年より遅くなる可能性があり、広い範囲でいつもの年より長い梅雨となりそうです。早めに梅雨入りを迎えた九州北部～近畿や、梅雨明けの遅れが予想される北陸や東北では、梅雨が平年より一週間程度長くなる可能性があります。

沖縄は平年よりやや遅い6月末に梅雨明けする見込みですが、梅雨入りがかかなり遅かったため、梅雨の長さは平年より短くなる見込みです。



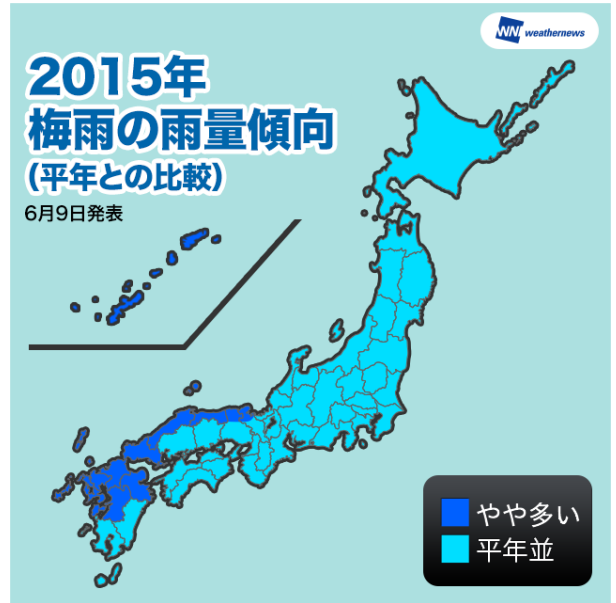
◆西日本の一部や沖縄では平年より雨量が多い予想

～全国的に7月は雨量多め、梅雨後半は大雨に警戒を～

梅雨の期間を通した雨量は、西日本日本海側・奄美・沖縄で平年よりやや多く、その他のエリアでは平年並となる見込みです。

今年は梅雨前線の北上のタイミングが平年より遅く、6月は沖縄付近～西日本の南岸に前線が停滞する日が多くなります。沖縄・奄美・九州・四国では激しい雷雨や大雨に注意が必要です。一方、中国・近畿・東日本・東北では、梅雨入り後も比較的晴れ間があり、6月の雨量は平年よりやや少ないところが多くなる見込みです。7月に入ると梅雨前線が本州付近に北上し、全国的に激しい雷雨や大雨の恐れがあります。

西日本太平洋側・東日本・東北の梅雨期間の予想雨量は平年並ではありますが、7月の雨量が平年より多くなる恐れがあるため、梅雨後半は道路冠水や家屋の浸水、河川の増水、土砂災害などに十分注意が必要です。



※梅雨の天気傾向の発表について

当社では、日々、長期気象予測サービスの実用化に向けて取り組みを行っていますが、現在の気象予測の技術水準では、予測精度の誤差が大きくなる場合があります。この度の梅雨の天気傾向発表にあたり、複数の長期予報の有識者の見通しを元に、総合的に見解を出しています。本リリースにおける情報につきましては、6月9日時点の見解になります。最新の見解は、当社のスマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」、または、携帯サイト (<http://wni.jp>) にてご確認ください。

◆エリアごとの梅雨の天気傾向

	雨のピーク 時期	雨量の傾向 (平年との比較)	天気傾向
東北	7月中・下旬	6月：平年並 7月：平年並	平年並の時期に梅雨入りする予想ですが、その後はエルニーニョ現象の影響で梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが平年並で梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。 6月は梅雨前線が本州の南海上に停滞する日が多く、例年より南に離れているため、晴れる日も多く、空梅雨の傾向となりそうです。 7月は梅雨前線が北上して曇りや雨の日が多くなり、雷を伴う激しい雨や大雨の恐れがあります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意してください。また、特に太平洋側では海上から涼しい風が吹き、一時的に気温が低くなる時期がありそうです。 梅雨明けは7月末～8月初めの予想です。
北陸	7月中・下旬	6月：やや少ない 7月：やや多い	平年並の時期に梅雨入りする予想ですが、その後はエルニーニョ現象の影響で梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが平年並で梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。

			<p>6月は梅雨前線が本州の南海上に停滞する日が多く、例年より南に離れているため、平年より雨量がやや少なくなる見込みです。7月は梅雨前線が北上して曇りや雨の日が多くなります。雷を伴う激しい雨や大雨で、雨量が平年より多くなる可能性があります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意してください。</p> <p>梅雨明けは7月末の予想です。</p>
関東 甲信	7月中旬	<p>6月：やや少ない 7月：やや多い</p>	<p>平年並の時期に梅雨入りを迎えましたが、エルニーニョ現象の影響で今後は梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが平年並で梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。</p> <p>6月は梅雨前線が本州の南海上に停滞する日が多く、例年より南に離れているため、平年より雨量がやや少なくなる見込みです。7月は梅雨前線が北上して本州付近に停滞し、曇りや雨の日が多くなります。激しい雨や大雨の恐れもあり、雨量が平年より多くなる可能性があります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意してください。</p> <p>梅雨明けは7月下旬の予想です。</p>
東海	7月中旬	<p>6月：やや少ない 7月：やや多い</p>	<p>平年並の時期に梅雨入りを迎えましたが、エルニーニョ現象の影響で今後は梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが平年並で梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。</p> <p>6月は梅雨前線が本州の南海上に停滞する日が多く、例年より南に離れているため、平年より雨量がやや少なくなる見込みです。7月は梅雨前線が北上して本州付近に停滞し、曇りや雨の日が多くなります。激しい雨や大雨の恐れもあり、雨量が平年より多くなる可能性があります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意してください。</p> <p>梅雨明けは7月下旬の予想です。</p>
近畿	7月中旬	<p>6月：やや少ない 7月：やや多い</p>	<p>平年より早い時期に梅雨入りを迎えましたが、エルニーニョ現象の影響で今後は梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが早く、梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。</p> <p>6月は梅雨前線が西日本の南岸に停滞して曇りや雨の日が多くなりますが、平年に比べると雨量はやや少ない見込みです。7月は梅雨前線が本州付近に停滞し、強い雨の日もあります。梅雨末期は大雨となり、雨量が平年より多くなる恐れがあります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意が必要です。</p> <p>梅雨明けは7月下旬の予想です。</p>
			<p>四国では平年並、中国では平年より早い時期に梅雨入りを迎えました。エルニーニョ現象の影響で今後は梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。梅雨入りが早く、</p>

中国 四国	7月上・中旬	6月：やや少ない 7月：やや多い	<p>梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。6月は梅雨前線が西日本の南岸に停滞して曇りや雨の日が多くなります。平年に比べると雨量はやや少ない見込みですが、前線に近い四国では活発な梅雨前線の影響で梅雨前半から大雨になる日もあり、注意が必要です。7月は梅雨前線が停滞し、梅雨末期は大雨となる恐れがあります。梅雨後半は雨量が平年より多くなる可能性があります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意が必要です。特に中国の日本海側では雨が多く、6～7月の総雨量も平年よりやや多くなる可能性があります。</p> <p>梅雨明けは7月下旬の予想です。</p>
九州	7月上・中旬	6月：やや少ない 7月：やや多い	<p>南部では平年並、北部では平年より早い時期に梅雨入りを迎えました。エルニーニョ現象の影響で今後は梅雨前線の北上が次第に遅くなり、梅雨明けは北部ほど遅くなる見込みです。北部では梅雨入りが高く、梅雨明けが遅いため、今年の梅雨は平年より長くなりそうです。</p> <p>6月は梅雨前線が西日本の南岸に停滞して曇りや雨の日が多くなります。平年に比べると雨量はやや少なくなる見込みですが、前線が活発化して大雨となる日もあり、注意が必要です。7月は九州付近に梅雨前線が停滞します。暖かく湿った空気の影響で前線活動が活発化して大雨となり、雨量が平年より多くなる恐れがあります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意してください。特に北部では雨が多く、6～7月の総雨量も平年よりやや多くなる可能性があります。</p> <p>梅雨明けは南部で7月中旬、北部で7月下旬の予想です。</p>
沖繩 奄美	<p>【奄美】 6月下旬 ～7月初め</p> <p>【沖繩】 6下旬</p>	6月：やや多い 7月：平年並	<p>エルニーニョ現象の影響で前線の北上が平年よりやや遅れるため、梅雨明けは平年より遅くなる見込みです。特に沖繩では梅雨を迎えるのが平年よりかなり遅れた影響で、梅雨明けが遅くても、梅雨の期間は平年に比べ短くなりそうです。</p> <p>現在、梅雨前線は一旦北上して梅雨の中休みとなっていますが、6月後半からは再び活発な前線が南下し、沖繩は6月下旬、奄美は6月下旬～7月初めにかけて大雨となる恐れがあります。河川の増水、浸水、土砂災害に注意が必要です。</p> <p>梅雨明けは沖繩で6月末、奄美で7月初めの予想です。</p>